



ありがとう75周年

HONDA

2023年
第94回都市対抗野球大会
応援パンフレット

Honda 硬式野球部



#12
岡野佑大
[投手]



#18
福島由登
[投手]

#23
辻野雄大
[捕手/主将]



#21
東野龍二
[投手]

挑戦への原動力

黒獅子旗を
Hondaへ



#25
佐藤竜彦
[外野手]



#10
井上彰吾
[外野手]

3年ぶり
4度目の日本に
チャレンジ!!

#22
藤野隼大
[捕手]



#24
鈴木薫
[外野手]

【試合日程】

1回戦>>7月15日 18時 対 トヨタ自動車 2回戦>>7月20日 10時
準々決勝>>7月22日 18時 準決勝>>7月24日 14時 決勝>>7月25日 18時

2023年度
Honda
硬式野球部名簿

89 [監督]
ひらきだ・なるゆき
開田成幸
1979.1.11生

86 [ヘッドコーチ]
たばた・ゆういち
多幡雄一
1982.7.20生

88 [コーチ]
きむら・りゅうじ
木村龍治
1970.9.1生

83 [コーチ]
さいごう・やすゆき
西郷泰之
1972.8.30生

85 [コーチ]
やまさき・ひろき
山崎裕貴
1991.4.5生

6
しのづか・よしまさ
篠塚宜政
【コーチ兼内野手】
1989.5.8生
①父親の影響
②いつも通りを心掛けます
③プロ野球選手 ④ゴルフ
⑤卵焼き

- ▼アンケート項目①野球を始めたきっかけ
- ②試合前に必ずすること③子どもの頃の夢
- ④野球以外の特技⑤好きなご飯のお供

TEAM DATA
Honda硬式野球部

- 所在地 / 埼玉県大里郡寄居町、比企郡小川町
- 創部 / 1960(昭和35)年
- 都市対抗実績 / 出場36回 (優勝3度=1996、2009、20年)
- 日本選手権実績 / 出場23回 (優勝1度=1985年)
- 硬式野球部統括GM / 甲元訓
- 部長 / 長谷川隆二
- 副部長 / 井上義男
- 副部長 / 井上義男
- 【南関東地区二次予選結果】
- ▼第1代表決定トーナメント
1回戦 7-1YBC柏
準決勝 1-0JFE東日本
代表決定戦 2-9日本通運
- ▼第2代表決定トーナメント
代表決定戦 1-3日本製鉄かずさマジック
- ▼第3代表決定トーナメント
代表決定戦 4-0ティ・エステック

ひらきだ・なるゆき ●1979年1月11日生まれ。
福岡県出身。柳川高→早大→Honda(外野手)。
2020年に監督就任

Honda

【7年連続37回目出場】
【寄居町、小川町 / 南関東第3代表】



「埼玉として最後の都市対抗で足跡を残し、創立75周年を飾りたい」

就任1年目の2020年、11年ぶり3度目の都市対抗制覇へと導いた。21、22年は初戦敗退と、開田監督は「この2年の悔しさを晴らす。3年間の経験を踏まえた上で、積極的にチャレンジする」と意気込む。スローガンは「奮喜(心を奮い立たせ)Challengeをたのしむ」。指揮官は「今

本通運との第1代表決定戦、日本製鉄かずさマジックとの第2代表決定戦を落とした。ティ・エス・テックとの第3代表決定戦で、最後の1棒を手にかけている。

「計5試合の予選でしたが、負けられない試合、後がない試合を勝ち切ったのは、若手選手にとっては財産です。必ず、準々決勝で直接対決が実現する。今季は公式戦でホン

ズ、本戦での原動力になる」投手陣は岡野、東野、中村伊、有村、補強選手・山田の先発候補に、抑えに11年目のベテラン・福島が控える。主将で不動の正捕手・辻野がいるのは心強い。攻撃陣は20年都市対抗優勝時の橋戸賞・井上が健在で鈴木、佐藤ら切れ目のない打線を形成する。2年目の遊撃手・峯村、今季からレギュラーの2年目・三浦ルーキー・小口と若手も台頭。4年目の藤野がDHで定着し、厚みを増している。

「1960年創部から歴史を刻み、今年は節目の大会。南関東代表として最後の都市対抗で足跡を残し、創立75周年を飾り、皆さんと喜びを分かち合いたい。スタンドで楽しんでいただけるように私たちが全力でプレーします。グラウンドの選手たちを後押しする大声援を、お願いいたします」

「1960年創部から歴史を刻み、今年は節目の大会。南関東代表として最後の都市対抗で足跡を残し、創立75周年を飾り、皆さんと喜びを分かち合いたい。スタンドで楽しんでいただけるように私たちが全力でプレーします。グラウンドの選手たちを後押しする大声援を、お願いいたします」

【大会展望】
黒獅子旗奪取へのシナリオ
開田成幸 [監督]

「埼玉として最後の都市対抗で足跡を残し、創立75周年を飾りたい」



おかの・ゆうだい ●1999年7月19日生まれ。兵庫県出身。176cm83kg。右投左打。神戸国際大付高一→帝京大。入社2年目

C L O S E U P

「危機感」胸に2年目の飛躍

岡野佑大は帝京大から入社1年目、昨年の都市対抗はベンチではなく、東京ドームのスタンドにいた。「チームの役に立てず、悔しかった。相当な危機感を胸に2023年シーズンを迎えた。「大卒2年目は、試合で投げられるレベルになる。毎年、良い選手が入社してくる。今年がラストチャンスのものでした」。持味は「すべての球種を駆使して、総合的に勝負する」。最速147キロ。スライダー、カーブ、チェンジアップをコーナーに集め、ゲームメイクする。今季はシーズン開幕のJABA東京スポニチ大会で「開幕投手」を任せられ、長野大会、九

岡野佑大 [投手]

州大会でも先発の軸で回り、チームからの信頼を得た。九州大会前に木村龍治コーチの助言で、セットポジションの際のグラブの位置をベンチの下にすると、さらに制球力が安定。南関東二次予選の第1代表決定トーナメント準決勝(対JFE東日本)では7回無失点の好投を見せるなど、7年連続での代表権奪取に貢献した。「目の前の打者に集中し、アウトを一つひとつ積み重ねる。走者を出しても、得点を与えない」。1回戦は昨年の社会人日本選手権覇者・トヨタ自動車だが、負うことは一切ない。

2 やまもと・けんぞう
[外野手] **山本兼三**
1994.4.8生
①友人に誘われた
②部屋の掃除
③パン屋
④スキー
⑤妻が作る漬物

5 みうら・りょうすけ
[内野手] **三浦良裕**
1999.4.17生
①父の影響
②いつも通り
③プロ野球選手
④文字を綺麗に書くこと
⑤明太子

32 やまだ・けいた
[投手] **山田啓太**
(補強選手=JFE東日本)
1998.5.28生
①兄の影響
②特になし
③プロ野球選手
④ゲーム
⑤キムチ

15 いまし・たくみ
[投手] **今西拓弥**
1998.6.22生
①プロ野球選手にあこがれて
②音楽鑑賞
③プロ野球選手
④ゲーム
⑤納豆

かわはな・ゆうま
[マネージャー] **河端優馬**
1996.10.30生

ほそや・ひろのぶ
[コンディショニングコーチ] **細谷裕信**

おやまだ・ゆきお
[トレーナー] **小山田幸夫**

7 こぐち・じんたろう
[外野手] **小口仁太郎**
2001.3.26生
①サッカーができたから
②キャリオカ
③サッカー選手
④愛想笑い
⑤カレー

8 ひむら・あつし
[内野手] **檜村篤史**
1997.11.6生
①友人に誘われた
②良いイメージ
③プロ野球選手
④ゲーム
⑤納豆

34 かたやま・ひろみ
[投手] **片山皓心**
1998.10.31生
①テレビの影響
②ご飯をたくさん食べる
③プリキュア
④お店選び
⑤とろろ

16 なかむら・いぶき
[投手] **中村伊吹**
1997.11.16生
①近所にチームがあった
②音楽鑑賞
③警察官
④ゲーム
⑤生卵

いらい・あきえ
[ダイヤモンドサポーター] **岩井明愛**

いらい・ちさと
[ダイヤモンドサポーター] **岩井千怜**

もてぎ・だいすけ
[ダイヤモンドサポーター] **茂木大輔**

10 いのうえ・しょうご
[外野手] **井上彰吾**
1990.12.31生
①兄の影響
②緊張
③甲子園で活躍する
④アラーム無し
でも絶対起される
⑤辛子高菜

9 ちの・けいじろう
[内野手] **千野啓二郎**
1997.7.17生
①父、兄の影響
②音楽鑑賞
③プロ野球選手
④洗車
⑤ミートボール

1 いわもと・ひさしげ
[投手] **岩本久重**
1999.4.21生
①テレビで見た阪神の影響
②ティータイム
③アレックス・カブレラみたいな選手
④男気ジャンケン
⑤特製チャーシュー、ポチギ

17 ほんだ・けんご
[投手] **本田健悟**
2000.10.30生
①野球をしていた兄の影響
②トイレにこもる
③プロ野球選手
④折り紙
⑤ゆかり

24 すずき・かおる
[外野手] **鈴木 薫**
1994.1.6生
①祖父の影響
②特になし
③赤レンジャー
④特になし
⑤明太子

26 みねむら・たかき
[内野手] **峯村貴希**
1999.4.27生
①兄の影響
②甘いものを食べる
③プロ野球選手
④特になし
⑤いら

22 ふじの・はやた
[捕手] **藤野隼大**
1998.1.7生
①友人に誘われた
②全部の道具を磨く
③メジャーリーガー
④読書
⑤しらす

18 ふくしま・ゆうと
[投手] **福島由登**
1990.5.20生
①兄の影響
②ドライブライン
③プロ野球選手
④ゴルフ
⑤ふりかけ(のりたま)

25 さとう・たつひこ
[外野手] **佐藤竜彦**
1994.11.21生
①父の影響
②ブラックコーヒーを飲む
③幸せな家庭を築く
④鍋奉行、ピアノ
⑤生卵

27 もりや・げんき
[内野手] **守屋元気**
1996.10.3生
①友人の影響
②特になし
③プロ野球選手
④特になし
⑤納豆卵

23 つじの・たけひろ
[捕手] **辻野雄大** (主将)
1993.6.16生
①父の影響
②お酒を飲む(前日)
③プロ野球選手、ウルトラマン
④ゴルフ
⑤韓国海苔フレーク

19 ありむら・たいせい
[投手] **有村大誠**
1998.11.29生
①父の影響
②音楽鑑賞
③プロ野球選手
④料理
⑤おかか

よねくら・かんだ
[投手] **11 米倉貫太**
2000.8.4生
①祖父の影響
②特になし
③プロ野球選手
④特になし
⑤生卵

28 せと・せいいちろう
[外野手] **瀬戸成一郎**
1999.9.26生
①テレビの影響
②早く寝る
③警察官
④倒立
⑤納豆

29 やました・こうすけ
[内野手] **山下滉介**
2000.12.24生
①父とのキャッチボール
②音楽鑑賞
③プロ野球選手
④ボウリング
⑤韓国海苔

0 のじり・こうき
[内野手] **野尻幸輝**
2000.10.6生
①兄の影響
②米をたくさん食べる
③プロ野球選手
④口笛
⑤何でもOK!!

20 やました・たくま
[投手] **山下拓馬**
2000.2.29生
①兄の影響
②同期の岡野佑大と食事に行く
③宇宙飛行士
④特になし
⑤納豆

おかの・ゆうだい
[投手] **12 岡野佑大**
1999.7.19生
①父の草野球
②山下拓馬と食事に行く
③保育士
④水泳
⑤食べるラー油

31 なかざわ・しょうた
[外野手] **中澤彰太**
(補強選手=JFE東日本)
1994.12.2生
①友人のスズメ
②道具磨き
③アンパンマン
④バスケットボール
⑤しらす

33 むらた・ゆうだい
[内野手] **村田雄大**
1998.4.30生
①物心がついた時にはやっていた
②特になし
③電車の運転手
④卓球、ゴルフ
⑤焼肉、明太子

3 なかむら・まさき
[内野手] **中村将己**
1997.4.21生
①兄の影響
②バットを磨く
③プロ野球選手
④特になし
⑤海苔の佃煮

21 ひがしの・りゅうじ
[投手] **東野龍二**
1995.8.6生
①篠塚和典さんにあこがれて
②チームスローガン復唱
③トップガンに入る
④ハンドスピナー
⑤ゴマ

うえの・やま・りんたろう
[投手] **13 上ノ山倫太郎**
2000.12.10生
①父の影響
②朝の着替はすべて左から
③ウルトラセブン
④大乱闘スマッシュブラザーズ
⑤めかぶ納豆

Honda所属プロゴルファー岩井明愛プロ、岩井千怜プロが1回戦の始球式に登場!
Honda創立75周年を記念し、背番号「75」のユニフォームを着用します!

4 つだ・しょうき
[内野手] **津田翔希**
1997.5.18生
①兄の影響
②特になし
③パイロット
④大富豪
⑤明太子

30 ごとう・じょう
[投手] **後藤 晟**
2000.12.26生
①家族の影響
②サウナ
③幸せな家庭を築く
④サーフィン
⑤明太子

あきやま・ひろかず
[投手] **14 朝山広憲**
1997.11.25生
①父の影響
②特になし
③プロ野球選手
④特になし
⑤明太子

2023年
第94回都市対抗野球大会
応援パンフレット

Honda熊本 硬式野球部



#28
山本卓弥
[外野手]



#19
片山雄貴
[投手]



#7
古寺宏輝
[内野手]



#6
稲垣翔太
[内野手]



#24
竹葉章人
[捕手/主将]

初の日本一に
チャレンジ!!

黒獅子旗を
Hondaへ

挑戦への原動力

【試合日程】

1回戦>>7月15日 14時 対 西濃運輸

2回戦>>7月20日 14時

準々決勝>>7月22日 18時

準決勝>>7月24日 14時

決勝>>7月25日 18時



#3
中島準矢
[外野手]



#17
島袋圭亮
[投手]



#18
柳澤一輝
[投手]



ありがとう75周年

HONDA

Honda熊本

【8年連続17回目出場】

【大津町／九州第1代表】

〔大会展望〕

黒獅子旗奪取へのシナリオ

渡辺正健

〔監督〕

「義理と人情、夢とロマンの町。皆さんが喜ぶ顔を見たい」



「挑戦への原動力」は渡辺正健監督の生き様だ。2008年7月から13年まで監督としてホンダ熊本硬式野球部を率いた。退任後は社業に専念。

「管理職として人の動かし方、言葉の使い方、マネジメントを学びました。企業の組織づくりは、野球部のチームづくりに置き換えられる」。20年に復帰。「1回目の経験を2回目に生かしている。いつかは野球から離れないといけな

い。野球部は企業の役に立つ、人づくりの一機関と認識しています」。

20年の都市対抗で17年ぶりの準々決勝進出。21年には準優勝を遂げた。社会人日本選手権対象のJABA大会で、22年は2大会(岡山、北海道)で優勝し、九州大会は準決勝進出。23年もスポニチ、岡山九州といずれも準決勝進出(4強)。都市対抗九州地区二次予選では6年連続の第1

代表を決めた。渡辺監督は「戦力的には整ってきた」と手応えを語るが「初戦の入りがかギ」と、西濃運輸との1回戦にすべてを注ぎ込む。

投手陣は先発、抑えをこなす片山に、九州二次予選では柳澤、高山が白頭。左サイド・島袋、新人の右サイド・上村とバラエティに富んだ布陣だ。二次予選では出番がなかったが、高卒3年目右腕・内田も控える。

打線は「全国でもマークされる」(渡辺監督)と一番から中島、山本卓、稲垣、古寺の上位4人は不動だ。昨季から一、二番を入れ替え「戦術の幅が広がった」と手応え十分。昨年の1回戦では6本塁打を放つなど「強打・熊本」が定着しており、機は熟したと言える。「熊本は地域密着の野球部。人口3万5000人の町が、大都会の代表チームに勝つ。僕らにしか分らない快感です」(渡辺監督)。準々決勝でホンダ対決の可能性があるが「09年はあと一つ勝てば埼玉という3回戦で負けた。一戦一戦、勝ち上がっ

CLOSE UP

全打席フルスイング宣言 古寺宏輝〔内野手〕

入社3年目。古寺宏輝は公式戦、オープン戦を通じて、不動の四番で起用されている。渡辺監督は20年の就任当初から「投打の中心を確立したい」という展望を持っていた。20年はベテラン・浜岡直人(21年からコーチ)に任せ、8強進出で「有終の美を飾ってもらった」(渡辺監督)。21年からは関東学院大出身の新人・古寺に打線の顔を託した。四番の座を与えたのではなく、自ら手にした。指揮官は「影で努力する選手。誰もが知っている。姿勢と結果で示した。何も言うことはない」と全幅の信頼を置く。エース・片山雄貴との投打の両輪を前に、Honda熊本は21年の都市対抗で準優勝。古寺は2本塁打で若獅子賞を受賞した。昨年は鷲宮製作所との1回戦でソコ、トヨタ自動車との2回戦で2本のソコ本塁打を放ち、7戦5発と東京ドームは相性



が良い。「5本、すべて狙いました。ホームランの打ち損じがヒットです。相手バッテリーからしても、フルスイングは脅威だと思う」。3度目の大舞台は「5本打ちたい。圧倒的な数字を残せば、チームの勝利につながる。とにかく優勝です」と意気込み。古寺の豪快なスイングが、チームを勢いづけていく。

ふるでら・こうき●1998年7月21日生まれ。大分県出身。175cm85kg。右投右打。大阪桐蔭高-関東学院大。入社3年目

た結果がそうなければいい」と無欲を強調する。「義理と人情、夢とロマンの町。明るい話題を提供し、皆さんが喜ぶ顔を見たい」。郷土の代表として、一戦必勝を貫く。

わたなべ・まさたけ●1969年9月4日生まれ。大分県出身。大分舞鶴高-明大-本田技研熊本(捕手)。08年から13年までHonda熊本監督。20年に同監督に復帰

2023年度 Honda熊本 硬式野球部名簿

36 たば・りょうへい
[内野手] **田場 亮平**
(補強選手=沖縄電力)
1992.2.18生
①祖父との野球がきっかけ ②湯船に浸かる
③宇宙飛行士 ④フィッシング!
⑤生卵。

1 こいずみ・てっぺい
[内野手] **小泉 徹平**
1999.6.20生
①友人からの誘い ②稲垣翔太さんとストレッチ
③マンチェスター・ユナイテッド入団 ④サッカー
⑤納豆

20 たかやま・たいが
[投手] **高山 大河**
1998.5.28生
①父にグラブとバットを買ってもらった ②気合のランニング ③夢を与えられる野球選手 ④モノマネ ⑤キムチ

11 たかはし・まさと
[投手] **高橋 聖人**
1999.12.22生
①WBCを見て ②音楽鑑賞 ③プロ野球選手 ④水泳
⑤納豆+キムチ+生卵

35 [監督] **渡辺 正健**
わたなべ・まさたけ
1969.9.4生

3 なかしま・じゅんや
[外野手] **中島 準矢**
1997.2.7生
①兄の影響 ②夜の素振りや湯船に入り、ストレッチ ③プロ野球選手 ④コーヒーを美味しく淹れること ⑤なめ茸

2 えぎき・だいすけ
[内野手] **江崎 大輔**
1998.3.20生
①父の影響 ②道具を磨くこと ③プロ野球選手 ④走ること ⑤納豆

21 おにつか・しゅう
[投手] **鬼塚 終**
2000.12.24生
①気づいたら野球ボールを握っていた ②試合の準備 ③新幹線の運転手 ④卓球 ⑤明太子

13 よこがわ・ふうが
[投手] **横川 楓薫**
1996.11.6生
①兄の影響 ②特になし ③プロ野球選手 ④クレーンゲーム
⑤納豆

55 [ヘッドコーチ] **川嶋 克弥**
かわしま・かつや
1990.7.31生

4 もちなが・けんたろう
[外野手] **持永 健太郎**
1994.7.8生
①父の影響 ②音楽を聴いて集中 ③プロ野球選手 ④ゴルフ ⑤明太子

5 いのうえ・ごう
[内野手] **井上 剛**
2001.2.22生
①兄の影響 ②イメージトレーニング ③プロ野球選手 ④スポーツ全般 ⑤明太子

22 やまもと・まさや
[投手] **山本 雅也**
1999.10.22生
①兄の影響 ②道具磨き ③プロ野球選手 ④歌を歌うこと
⑤納豆

14 なかつ・ゆうし
[投手] **中津 友志**
1998.1.12生
①友人とのキャッチボール ②道具を磨いてよく寝る ④水泳
③競輪選手 ⑤ラーメン

44 [コーチ] **浜岡 直人**
はまおか・なおと
1985.4.12生

52 [コーチ] **福田 大輔**
ふくだ・だいすけ
1992.11.21生

9 やまもと・りきや
[外野手] **山本 力也**
1996.8.16生
①第1回のWBCを見て ②素振り、道具磨き ④口笛
③プロ野球選手 ⑤明太子

6 いながき・しょうた
[内野手] **稲垣 翔太**
1993.7.2生
①従兄弟に誘われたから ②素振り ③プロ野球選手 ④特になし ⑤梅干し

37 はやし・けんた
[投手] **林 健太**
(補強選手=宮崎梅田学園)
1993.10.15生
①兄の影響 ②気持ちが落ち着く音楽を聴く ④安全運転
③プロ野球選手 ⑤明太子

15 うえむら・れい
[投手] **上村 嶺**
2001.2.6生
①父の影響 ②音楽鑑賞 ③プロ野球選手 ④サッカー
⑤キムチ

51 [コーチ兼選手] **北村 優**
きたむら・ゆう
1993.1.22生
①兄弟の影響 ②移動中にコーヒーを飲む ③消防士 ④ギターを片山雄貴と弾く ⑤オクラ

23 みやがわ・かいと
[外野手] **宮川 海斗**
1998.1.8生
①気づいたら野球をしていた ②乳酸菌飲料を飲む事
③プロ野球選手 ④スポーツ全般 ⑤納豆

7 ふるでら・こうき
[内野手] **古寺 宏輝**
1998.7.21生
①父の影響 ②バットと寝たから ③シュリケンジャになること ④DIY活動 ⑤焼肉のたれ

24 たけば・あきひと
[捕手] **竹葉 章人** (主将)
1998.5.22生
①父の影響 ②試合前用のプレイリストの音楽を聴く ③プロ野球選手 ④クイズ、ブリッジで歩く ⑤キムチ、納豆、生卵

16 うちだ・りょうすけ
[投手] **内田 了介**
2002.11.24生
①茂野吾郎にあこがれたから ②読書 ③大谷翔平 ④英会話 ⑤キムチにマヨネーズ

しょうばやし・だいき
[マネージャー] **正林 大樹**
1994.6.23生

しげい・たかゆき
[トレーナー] **繁井 孝之**

25 やまね・りょうた
[外野手] **山根 良太**
2000.11.11生
①小学2年生時に始めた ②アップ ③強い人 ④バスケットボール・バレーボール ⑤ワカメのふりかけ

8 わだ・ゆうき
[内野手] **和田 裕生**
1995.8.23生
①気づいたらボールとバットを手にしていた ②道具を磨き、身の回りを整理整頓 ③プロ野球選手 ④1500メートル走 ⑤納豆

26 むの・かいと
[捕手] **袁尾 海斗**
2000.5.16生
①格好よかったから ②部屋の片付け ③焼き鳥屋 ④リアディング ⑤ほうれん草

17 しまぶくろ・けいすけ
[投手] **島袋 圭亮**
1994.1.15生
①兄の影響 ②湯船に浸かる ③野球選手 ④靴を洗うこと
⑤明太子

よしおか・りね
[ダイヤモンドサポーター] **吉岡 梨音**

▼アンケート項目 ①野球を始めたきっかけ ②試合前に必ずすること ③子どもの頃の夢 ④野球以外の特技 ⑤好きなご飯のお供

28 やまもと・たくや
[外野手] **山本 卓弥**
1997.9.3生
①兄弟の影響 ②特になし ③プロ野球選手 ④魚を捌ける
⑤明太子、キムチ

10 いしい・げん
[内野手] **石井 元**
1993.4.21生
①姉と兄がソフトボールをしていたから ②ランニングで追い込んで肺活量の爆上げ ③プロ野球選手 ④寝ること ⑤納豆、生卵、お茶漬け

27 まるやま・りゅうじ
[捕手] **丸山 竜治**
2000.9.4生
①プロ野球選手に出会ったから ②素振り ③サッカー選手 → プロ野球選手 ④ジャグリング、歌 ⑤生卵、納豆、明太子

18 やなぎざわ・かずき
[投手] **柳澤 一輝**
1995.8.3生
①両親に勧められて ②睡眠8時間 ③プロ野球選手 ④大きい声を出す ⑤明太子、なめ茸、生卵

TEAM DATA Honda熊本 硬式野球部

- 所在地 / 熊本県菊池郡大津町
- 創部 / 1981 (昭和56) 年
- 都市対抗実績 / 出場16回 (準優勝2度=2002, 21年)
- 日本選手権実績 / 出場14回 (準優勝1度=1988年)
- 硬式野球部統括GM / 甲元訓
- 部長 / 中ノ瀬孝幸
- 副部長 / 西山智裕
- 【九州地区二次予選結果】
- ▼第11代表決定トーナメント
- 2回戦 13-0大福ロジスティクス
- 準決勝 6-2西部ガス
- 代表決定戦 5-2宮崎梅田学園

0 えがしら・かつゆき
[内野手] **江頭 且行**
1999.9.9生
①兄の影響 ②素振り、腹筋 ③プロ野球選手 ④サッカー
⑤納豆キムチ

19 かたやま・ゆうき
[投手] **片山 雄貴**
1993.8.8生
①テレビでプロ野球を見て ②青い湯を張ったお風呂に浸かる ③プロ野球選手 ④スポーツ全般 ⑤明太子



挑戦への原動力

HondaのDNA 野球を通じた 企業姿勢



Hondaは2020年の都市対抗で11年ぶり3度目の優勝

【Honda硬式野球部】

福島由登

[投手]

「黒獅子旗は、
苦しい試合を
制した者だけが
手にできる」

ふくしま・ゆうと ●1990年5月20日生まれ。徳島県出身。178cm86kg。右投右打。大阪桐蔭高-青学大。入社11年目

「今年で入社11年目になりますが、年を追うごとに職場の熱量が上がっているように感じます。工務課では横断幕を制作してくれたり、従業員の応援は、大きな力になっています。現状維持は、好きではありません。常に新しいことにチャレンジします。トライ&エラーと呼んでいますが、練習では挑戦することを怖がらない。試合でも相手に対して挑み続けることが大切です。それが入社以来、私たちが学んできたHondaの魂。私にとつての『挑戦への原動力』です。Honda熊本硬式野

辻野雄大

[主将/捕手]

「この仕事に
誇りを持ち、
全力で
向き合っている」

つじの・たけひろ ●1993年6月16日生まれ。茨城県出身。179cm86kg。右投左打。波崎柳川高-白鷗大。入社8年目

「エンジョイ管理課では、いつも野球部に気にかけてくれ、感謝しかありません。今回の都市対抗出場の際も『勝って、良かったね』との激励が、私にとって『挑戦への原動力』です。Honda硬式野球部とHonda熊本硬式野球部が2勝すれば、準々決勝で対戦します。熊本の片山（雄貴）ら同級生とも、かねてから『いつかやりたいね』と話をしてきました。今季はHonda硬式野球部が2勝していますが、意識はしません。機会があればHonda熊本硬式野球部に勝ち、Honda硬式野球部としての面目を保ちたいと思います。」



「エンジョイ管理課では、いつも野球部に気にかけてくれ、感謝しかありません。今回の都市対抗出場の際も『勝って、良かったね』との激励が、私にとって『挑戦への原動力』です。Honda硬式野球部とHonda熊本硬式野球部が2勝すれば、準々決勝で対戦します。熊本の片山（雄貴）ら同級生とも、かねてから『いつかやりたいね』と話をしてきました。今季はHonda硬式野球部が2勝していますが、意識はしません。機会があればHonda熊本硬式野球部に勝ち、Honda硬式野球部としての面目を保ちたいと思います。」

Honda創立75周年、埼玉の野球部として出場する最後の都市対抗。2つの節目ですが毎年、黒獅子旗を目標に勝負しています。先輩が築いた伝統を継ぎ、今後のHondaを考えながら、グラウンドでは圧倒的な存在感を出したいと思っています。私たちの本業である野球、この仕事に誇りを持ち、全力で向き合っているということ、自信を持って言えます。Hondaとして大事にするチャレンジを続け、勝つことで企業姿勢を示す。2023年のスローガンに掲げているように、チーム内でも『挑戦』という言葉が、昨年以上に広がっています。大応援団が力になります。目の前の一戦を、必死に取りに行きたいと思っています」



「今年で入社11年目になりますが、年を追うごとに職場の熱量が上がっているように感じます。工務課では横断幕を制作してくれたり、従業員の応援は、大きな力になっています。現状維持は、好きではありません。常に新しいことにチャレンジします。トライ&エラーと呼んでいますが、練習では挑戦することを怖がらない。試合でも相手に対して挑み続けることが大切です。それが入社以来、私たちが学んできたHondaの魂。私にとつての『挑戦への原動力』です。Honda熊本硬式野

球部と準々決勝で対戦する可能性があるのは、Honda硬式野球部にとつても励みです。Honda同士の真つ向勝負は、『プレーする側だけでなく、見る方にも、楽しい展開になるのではないのでしょうか。今季の対戦成績（2勝）は参考にはなりません。ただ、勝っている事実がありますので、自信を持っていきたいです。2020年の都市対抗制覇は多くの方に喜んでもらった、忘れられない記憶です。黒獅子旗の重み。苦しい試合を制した者だけが手にできる栄光の証です。今年4年ぶりに東京ドームに声援が戻ってきます。スタンドの皆さんとともに、3年ぶりの都市対抗優勝を味わいたいと思います」

【チーム運営者の声】 甲元 訓 [硬式野球部 統括ゼネラルマネージャー]

「年に1度の都市対抗野球大会は、企業スポーツとして一体感を醸成する絶好の機会です。名物の大応援で、スタンドとベンチが一つになる。社会人野球にしかない文化。今大会は4年ぶりに声出し応援解禁され、従来の光景が戻ります。野球というスポーツを通して、Hondaの企業姿勢であるチャレンジ精神を、肌で感じてもらいたいです。Hondaは昨年8月、初となるスポーツ専門部署「スポーツプロモーション部」を立ち上げ、12月「Honda Sports Challenge」をスローガンに、新たなステージで挑戦することを発表。スポーツというコンテンツを通して『挑戦』する人を増やし、あらゆる人を幸せにしていこうというビジョンを掲げ、『たのしむ』『はぐくむ』『つなげる』という三つの方向性で活動を展開しています。2023年はHonda創立75周年です。新春のニューイヤーズでは、Honda陸上競技部が2連覇を達成し、5月には三重Hondaヒートがジャパンリーグに昇格しました。この勢いをHonda硬式野球部、Honda熊本硬式野球部にもつなげ、都市対抗で黒獅子旗をHondaに持ち帰ります。チームの都市対抗に

「年に1度の都市対抗野球大会は、企業スポーツとして一体感を醸成する絶好の機会です。名物の大応援で、スタンドとベンチが一つになる。社会人野球にしかない文化。今大会は4年ぶりに声出し応援解禁され、従来の光景が戻ります。野球というスポーツを通して、Hondaの企業姿勢であるチャレンジ精神を、肌で感じてもらいたいです。Hondaは昨年8月、初となるスポーツ専門部署「スポーツプロモーション部」を立ち上げ、12月「Honda Sports Challenge」をスローガンに、新たなステージで挑戦することを発表。スポーツというコンテンツを通して『挑戦』する人を増やし、あらゆる人を幸せにしていこうというビジョンを掲げ、『たのしむ』『はぐくむ』『つなげる』という三つの方向性で活動を展開しています。2023年はHonda創立75周年です。新春のニューイヤーズでは、Honda陸上競技部が2連覇を達成し、5月には三重Hondaヒートがジャパンリーグに昇格しました。この勢いをHonda硬式野球部、Honda熊本硬式野球部にもつなげ、都市対抗で黒獅子旗をHondaに持ち帰ります。チームの都市対抗に

「年に1度の都市対抗野球大会は、企業スポーツとして一体感を醸成する絶好の機会です。名物の大応援で、スタンドとベンチが一つになる。社会人野球にしかない文化。今大会は4年ぶりに声出し応援解禁され、従来の光景が戻ります。野球というスポーツを通して、Hondaの企業姿勢であるチャレンジ精神を、肌で感じてもらいたいです。Hondaは昨年8月、初となるスポーツ専門部署「スポーツプロモーション部」を立ち上げ、12月「Honda Sports Challenge」をスローガンに、新たなステージで挑戦することを発表。スポーツというコンテンツを通して『挑戦』する人を増やし、あらゆる人を幸せにしていこうというビジョンを掲げ、『たのしむ』『はぐくむ』『つなげる』という三つの方向性で活動を展開しています。2023年はHonda創立75周年です。新春のニューイヤーズでは、Honda陸上競技部が2連覇を達成し、5月には三重Hondaヒートがジャパンリーグに昇格しました。この勢いをHonda硬式野球部、Honda熊本硬式野球部にもつなげ、都市対抗で黒獅子旗をHondaに持ち帰ります。チームの都市対抗に



こうもと・さとる ●1971年6月19日生まれ。兵庫県出身。報徳学園高。法大、本田技研鈴鹿で投手。Honda鈴鹿コーチを経て、2012年から18年までHonda鈴鹿監督。19年からHonda、Honda鈴鹿、Honda熊本の硬式野球部統括GM



Honda熊本は2021年の都市対抗で準優勝



ありがとう75周年

HONDA

常に挑戦を続ける。
 どん欲なスタイルは職場、
 練習で培われたものであり、
 Hondaの企業文化を支える
 原動力となっている。
 Honda硬式野球部と
 Honda熊本硬式野球部は、
 幅広い領域でチャレンジし続けていく。

【Honda熊本硬式野球部】

片山雄貴

【投手】

「お互いプライドを持っていて、特別な一戦になる」

かたやま・ゆうき●1993年8月8日生まれ。福岡県出身。179cm76kg。右投右打。福岡工大城東高-駒大(Honda鈴鹿)。入社8年目

「大学卒業後、ホンダ鈴鹿硬式野球部に2年在籍し、転籍により、2018年からホンダ熊本硬式野球部でプレーしています。九州出身なので「空気が合うな」と、すぐに打ち解けることができました。鈴鹿では勝利に貢献できず、こうして熊本できっかけと挑戦の場をいただき、感謝しかありません。

職場からは「応援しているよ!」と激励されており、自分たちはプレーで恩返しして、少しでも喜んでもらえるように日々、練習を重ねています。地元・大津町との関わりも深く、

竹葉章人

【主将/捕手】

「泥臭い野球で、勇気と感動を送り届けたい」

たけば・あきひと●1998年5月22日生まれ。奈良県出身。175cm78kg。右投右打。龍谷大平安高-立大。入社3年目

「1ガンは『New Challenge』。1へのこだわり」。都市対抗初優勝の目標に対し、何をやるのか。今季はコーチ3人と主将が交代したのが、新たな挑戦です。規則正しい私生活。技術的には1球目、1スイングへのこだわりを持つ。当たり前前のプレーを当たり前にする



「ホンダ創立75周年ということと、地元・大津町の皆さんや、職場からは例年以上の期待を受けていますが、硬くならず、いつも通りの戦いをしようと、チーム内では共有しています。今年のスロ

る、チームの士気を東京ドームに最高潮で持っていけるように準備をしています。車体製造モジュールに所属し、従業員からの温かい声援が大きな力になっています。奈良で育ち、高校は京都、大学は東京でプレーし、社会人から熊本でお世話になっていますが、義理人情に厚い方が多いです。ホンダ硬式野球部とホンダ熊本硬式野球部が2勝ずつすれば、準々決勝で対戦しますが、今年のJABA大会で2回負けているので「3度目の正直」を達成する。監督からは「格好いプレーはいらない」と言われています。雑草魂、たたく上げ軍団です。泥臭い野球で、勇気と感動を届けたいと思います」

仲間意識が強いんです。熊本が東京ドームで明い話題を提供し、町を盛り上げたいと思います。ホンダ硬式野球部は意識するチームです。今大会、東京ドームでホンダ対決が実現すれば、従業員の活性化につながります。お互いプライドを持っていて、特別な一戦になる。今季、熊本はJABA大会で2敗しているの、借りを返せば、喜んでいただける。東京ドームがホンダファンで埋め尽くされる光景を見たいんです。常にホンダの声援だけで盛り上がる場内の雰囲気。想像するだけでワクワクします。一戦必勝ですが、黒獅子旗を手にする決勝まで5試合、フル回転する覚悟です。応援をよろしくお願いします」

「挑戦を繰り返し、失敗を乗り越えることで成長し、成功へとつなげる」

かける思い、1球にかける執念、夢の実現に向けて挑戦する姿を見てくださいます。ホンダ硬式野球部は全社シンボルクラブと位置づけ、来年より東京地区に移転します。南関東地区の代表チームとして、「寄居町・小川町代表」としてのラストイヤーに、3年ぶり4度目となる都市対抗制覇に「挑戦」していきます。ホンダ熊本硬式野球部はエリアのアクティブクラブとして大津町・熊本県、九州全体の野球を底上げする役割を担います。近年、都市対抗ではベスト8、準優勝と着実に力をつけており、「大津町代表」として、念願の初優勝、九州勢としても1954年以降の優勝に向け「挑戦」して参ります。ホンダ硬式野球部とホンダ熊本硬式野球部は今季、JABAスポンニチ大会九州大会で2度対戦しています(ホンダ硬式野球部が2勝)。今大会は両チームとも2回戦を突破すれば、準々決勝で都市対抗では初となる「ホンダ対決」が実現します。東京ドームをホンダのファンで埋め尽くし、都市対抗野球でしか味わえない「ホンダ対決」を球場で体感していただきたいと思っています。ホンダの企業姿勢である「挑戦」することは、成長と成功だと考えています。ノープレーノーエラーではなく、一歩踏み出す勇気を持ち、意志をもって挑戦する。失敗しても成長するチャンスととらえ、また挑戦することで成功につながっていく。黒獅子旗への「挑戦」。スタンドから、熱い声援をよろしく願っています」